

- ・ 名前：新川 嘉英
- ・ 会員番号：PE-0279
- ・ 勤務先：総合電機メーカーの重電系
- ・ 専門分野：機械系
- ・ 保有資格：PE Mechanical Systems and Materials
- ・ 登録州：Oregon
- ・ 登録日：2017年11月

## 1. はじめに

私は大学・大学院で金属材料を学び、社会に出て鋳造関連の生産技術の経験を経て、重電系の設計及びプロジェクト業務をしております。自己研鑽及び海外業務に携わる機会があった際に活用できると考えて、PE を取得しました。登録作業を始めた頃はどのように進めればよいのか悩むこともあり、また煩雑な部分が多いイメージを持ちました。幸運なことに当時登録作業をしたばかりの同僚と知り合い、登録に当たっての大まかな流れを教えてもらったことで、気持ちがかなり楽になりました。それでも一部の手続きは煩雑だと感じる場所もあり、登録作業も途中で停滞してしまった期間もあります（特にシラバスの英訳作業）が、比較的恵まれた環境での登録でした。

具体的な登録作業に際しては、他に詳細な体験記等がありますので、私の体験記ではどの程度内容のもので審査が通過するか、また登録にあたって何が役立った等、登録作業の目安または微力ながら助けになれば思い、報告させていただきます。

## 2. 試験合格から登録まで

PE 登録までの大きな作業として、登録方法の調査、シラバスの英訳、Application for Registration の作成となります。その中で私が感じたことを以下に示します。

### ① 2016年5月 PE 試験合格

大学・大学院の専攻が金属材料でしたが、仕事では機械系であったことから、機械を選択しました。流体力学の試験勉強は苦勞しましたがなんとか合格しました。試験勉強を通じて、機械系の基礎的な智識を得ることができたかと思えます。

### ② 2016年5月 登録方法の調査

最初に JSPE の HP や各州の登録情報を調査しました。海外の規格の調査をすることや海外を一人旅する等はありませんでしたが、海外業務を実務として対応したことはありませんでした。その程度の私ですが登録費用、維持費、条件が州によってはかなり違いがあり、いくつかの州の費用や登録に当たっての条件を確認しました。州によっては地理的な影響も踏まえた登録条件もあり、手間な作業でしたが面白みを感じたところでもありました。ただ幸運なことに最近登録作業を行った同僚と知り合い、大まかな流れ等の情報を入手したことにより、その後の作業はイメージしやすいものとなりました。費用面や同僚の登録州を踏まえて、Oregon 州に登録することを決めました。

これから登録される方は業務上の制約などが無ければ、周りの人の登録した州等を参考にすると

も良いかもしれません。

③ 2016年9月～2017年4月 英訳版シラバスの作成

まずは出身大学に在学していた頃のシラバスの有無を確認しました。私の年代ではやはり英文のシラバスがなく、日本語のシラバスのみでした。ただ幸運なことに一部の履修科目は大学のHPにアップされており比較的楽に入手できました。大学のHPに掲載されていないものは大学までシラバスを調べ行き、コピーして自分で英訳しました。大学では金属材料を専攻しており、久しぶりの金属材料関連の英語に懐かしさを感じつつも、モチベーションがなかなか上がらず、もっとも時間を要した作業でした。また時間を要した理由としてなかなか大学へ行く用事がなく、シラバスを入手できなかったことがあります。

英訳に際しては最近のシラバスの一部は英文もあることから、言い回し等を参考に作成しました。この期間にNCEESへシラバス審査書類に関して、大学からの送付、私の英訳シラバスに対する大学のクレジットの依頼等の調整を行いました。

大学に依頼する作業はこのシラバスの入手と合わせて進めることをお勧めします。

④ 2017年5～6月 JSPEの学歴評価レビュー支援

作成したシラバスをJSPEの学歴評価レビュー支援を活用させて頂きました。自分で英訳したこともあり、JSPEの方からのアドバイスはとても役立ちました。レビュー結果として、区分Ⅱ「General Education」が不足している可能性があるとの連絡を頂き、日本語のシラバスの内容を精査して、一部の表現を修正しました。

ご自分でシラバスを英訳した際に区分Ⅱ「General Education」が不足していると思われる方は、JSPEの学歴評価レビュー支援を活用されることをお勧めします。なお、私の場合は修正しても不足の可能性がありましたが、NCEESのシラバス審査は無事通過しました。

⑤ 2017年6月 NCEESへシラバス審査書類提出

大学との調整の結果、個人作成の英訳版シラバスに対して大学のクレジットを付けることは不可でした。ただ大学からの封筒に私の英訳版シラバスを同封することは対応可能と連絡を頂き、以下の資料を大学から提出して頂きました。

(英訳版シラバスは大学から送付されますが、大学が証明したものではないことを注記として記載することが条件でした。)

- \* Transcript Request
- \* JSPE レビューを踏まえた個人作成の英訳版シラバス
- \* 英文成績証明書
- \* 英文学位証明書

⑥ 2017年7月 NCEESシラバス審査を通過

書類提出後約1ヶ月でNCEESから審査の通過の連絡を頂きました。シラバスの英訳作業に時間を要したこともあり、Application for Registrationを休みの多い8月中にやろうと決めてモチベーションを上げて作業を本格的に始めました。

⑦ 2017年8月 Application for Registrationの作成

Application for Registrationの作成に当たっては、最近登録した同僚、JSPEの方に相談しつつ、作成していきました。

- ⑧ 2017年8月 レファレンスの準備  
またまた幸運なことに職場に PE を保有している人が5名もおり、探す手間もなくすぐに準備が整いました。
- ⑨ 2017年8月 NCEES Credential Evaluation を Oregon 州のボードへ提出  
NCEES の HP から NCEES Credential Evaluation を Oregon 州のボードへ提出しました。HP 上の操作だけですぐに完了し Oregon 州のボードに提出が可能です。
- ⑩ 2017年9月 Application for Registration の提出  
関係者のご協力のもと、Application for Registration を提出しました。
- ⑪ 2017年11月 PE 登録完了  
提出後、Oregon 州のボードに登録完了の見込み時期を確認したところ、次回の Board meeting の開催時期を踏まえていつ頃登録が完了するか連絡を頂く。登録見込み時期にメールで登録状況を確認したところ、登録が完了した旨の連絡を頂き、後日、書類が届きました。Application for Registration を提出してから、約2ヶ月で完了しました（州法試験も特に科されることなく）。

### 3. PE 登録に際しての気づき

PE 登録で心配に感じたことは、個人作成の英訳シラバスで NCEES シラバス審査が問題ないかということでした。個人作成ということで大学から NCEES への資料に英訳シラバスの位置付けを明記されたことで NCEES シラバス審査を通過しないのではないかと思いましたが、特に問題なく通過しました。

### 4. おわりに

JSPE の方をはじめ、会社の同僚、先輩、上司の助けを頂くことで、PE を登録することができ、大変感謝しております。今後は PE 取得を通じて得た技術で社会に貢献していければと考えております。

以上